

Kansai Economic Insight Monthly

2016/8/23

Vol.40 July/August

・ APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・ レポート公開時期は毎月第3週金曜日を予定しています。

・ 執筆者は、稲田義久（甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長）、林万平・木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh Nguyet（各APIR研究員）です。

・ 本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・ 本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要旨	1
景気の現況	2
関空モニター	8
中国景気モニター	9
主要月次統計	13
Release Calendar	14

要 旨

- 足下景気は緩やかな回復も、先行き不透明感が高まる ※ -

- ✓ 4-6月期の鉱工業生産指数は2期連続のプラスだが、6月は3カ月連続の前月比マイナスとなった。依然、生産の基調は弱い。
- ✓ 7月の輸出は10カ月連続の前年比マイナス。輸入は11カ月連続の同マイナス。大幅な円高進行により輸入減が輸出減を上回る状況が続いている結果、貿易収支は6カ月連続の黒字。
- ✓ 7月の消費者態度指数は収入の増え方指数の悪化もあり、3カ月ぶりに悪化した。一方、景気ウォッチャー現状判断DIは3カ月ぶりの改善。金融市場の落ち着きと政府の経済対策への期待から、先行き見通しも大幅に改善した。
- ✓ 4月の関西2府4県の現金給与総額は3カ月連続の上昇。一方、5月の「関西コア」賃金指数は横ばいであった。
- ✓ 6月の大型小売店の販売額は4カ月連続の前年比マイナス。スーパーは2カ月ぶりの同プラスも、百貨店は6カ月連続の同マイナスとなり、減速感が強まっている。
- ✓ 6月の新設住宅着工戸数は6カ月ぶりの前年比マイナス。7月のマンション契約率は2カ月連続で70%台を上回った。
- ✓ 6月の有効求人倍率は、5カ月連続の上昇。新規求人倍率は前月からの反動もあり、3カ月ぶりに下落した。完全失業率は2カ月ぶりに悪化した。雇用情勢は堅調が続く。
- ✓ 7月の公共工事請負金額は3カ月ぶりの前年比プラス、季節調整値でみれば、2カ月連続のプラス。
- ✓ 7月の関空への訪日外客数は57万9,850人で42カ月連続のプラスであったが、5月の中国からの訪日外客数の伸びはマイナスとなった。
- ✓ 中国7月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は2カ月連続で前月から悪化。リコノミクス指数(APIR試算)は前年比7カ月連続で上昇しているものの、顕著な改善は依然として見られない。

※景気の基調判断はAPIR(豊原法彦リサーチリーダー)開発の関西景気動向指数(CI, CLI)に基づいている。

【関西経済のトレンド】

	2015年							2016年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
生産	➡	↘	↗	↗	↘	↘	↗	↘	↗	↘	↘	↘		
貿易	↗	↗	↗	↗	➡	↗	➡	↗	↗	↗	➡	↗	↗	
センチメント	↘	↘	↘	➡	↘	↗	↘	↘	↘	↗	➡	↘	↗	
消費	↗	↗	↗	↗	➡	➡	↗	↗	➡	➡	↘	↘		
住宅	➡	➡	➡	↗	➡	↘	↗	↗	↗	↗	➡	↘		
雇用	↗	↗	↗	➡	↗	↗	➡	↗	↗	↗	↗	↗		
公共工事	↘	↘	↘	↘	➡	➡	↘	↗	↗	↗	➡	↘	↗	
中国	➡	↘	➡	➡	➡	↘	↘	↘	➡	➡	➡	➡	➡	

【鉱工業生産動向】

(1) 関西の生産動向

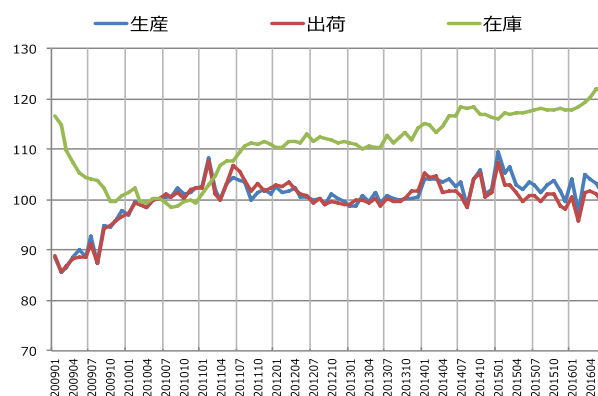
2016年6月の鉱工業指数(速報値:季節調整済, 2010年=100)を見ると、生産は101.2で前月比-2.0%と3カ月連続の下落。出荷は99.3で同-1.9%と2カ月連続の下落。在庫は121.7で同-0.2%と6カ月ぶりの減少となった。なお、6月の実質輸出は前月比プラスだった。

業種別に生産指数をみると、はん用・生産用・業務用機械(同-11.6%, 2カ月ぶり)、金属製品(同-8.6%, 3カ月連続)、化学(除. 医薬品)(同-2.3%, 2カ月ぶり)等が減産となった。一方、電気機械(同+10.8%, 2カ月連続)、電子部品・デバイス(同+5.5%, 2カ月ぶり)、輸送機械(除. 航空機・鋼船・鉄道車両)(同+1.5%, 2カ月ぶり)等が増産となった。

結果、関西4-6月期の生産は前期比+0.6%と2四半期連続のプラスとなった。生産は3月の大幅増産後、3カ月連続

の減産であったが、四半期ベースではプラスとなった。そのため、生産の基調は弱い。

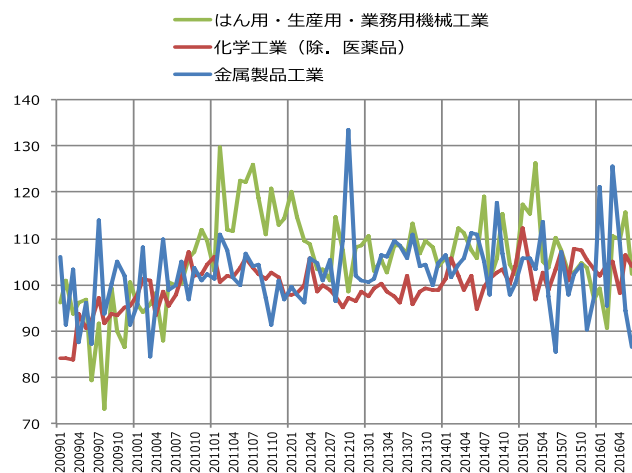
鉱工業指数の推移(関西: 2016年6月まで、2010年=100)



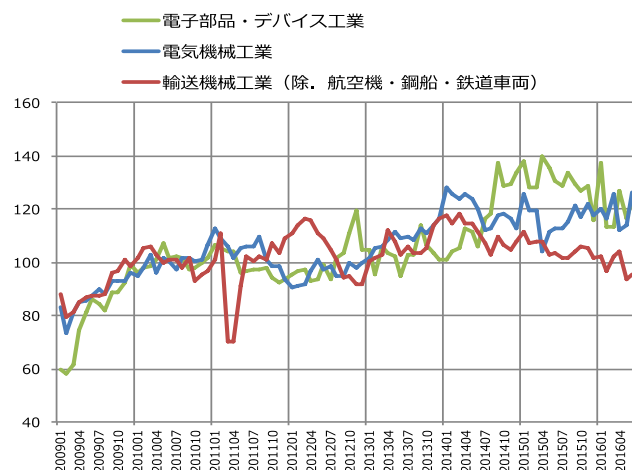
(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

業種別生産指数の推移(関西：2016年6月まで、平成22年=100)



業種別生産指数の推移(続き)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

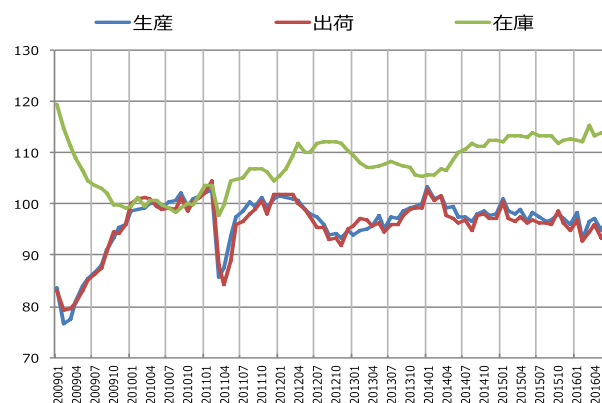
(2) 全国の生産動向

全国における6月の鉱工業指数(速報値：季節調整済、2010年=100)を見ると、生産は96.9となり前月比+2.3%、出荷は95.1で同+1.7%といずれも2カ月ぶりの上昇。在庫は113.9と同横ばい。結果、4-6月期の生産は前期比+0.2%と2四半期ぶりのプラスとなった。

業種別にみると、化学(同+3.2%)、輸送機械(同+1.8%)、金属製品(同+5.7%)等を中心に幅広く増産となった。一方、石油石炭製品(同-1.3%)、情報通信機械(同-0.2%)は減産となった。

速報値公表時に発表された製造工業生産予測調査によれば、7月は同+2.4%、8月は同+2.3%と増産が続く見込みとなっている。

鉱工業指数の推移(全国：2016年6月まで、2010年=100)



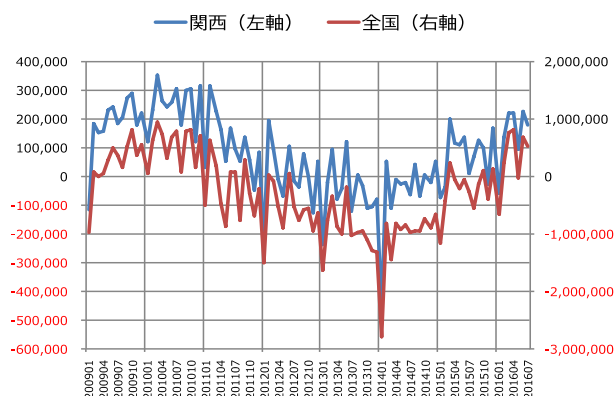
(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、7月関西の貿易収支は+1,799億円と6カ月連続の黒字となり、貿易収支は前年同月比+2222.4%と2カ月連続で拡大した。全国の貿易収支(速報値)は+5,135億円と2カ月連続の黒字となり、貿易収支は前年同月から7,749億円改善した。大幅な円高進行により輸出入減が続いている一方、資源価格の低下もあり、輸入減が輸出減を上回る状況が続いている。結果、貿易収支はむしろ改善している。

関西・全国の貿易収支の推移：(百万円、2016年7月まで)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

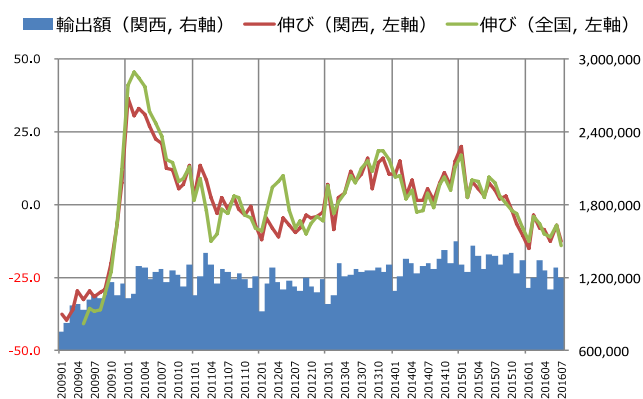
(2) 輸出

関西 7 月の輸出額(速報値)は 1 兆 1,994 億円。前年同月比-12.7%減少し、10 カ月連続の減少。財別に見れば、科学光学機器、鉄鋼の輸出が減少した。

全国 7 月の輸出額(速報値)は 5 兆 7,284 億円、前年同月比-14.0%と 10 カ月連続の減少。財別に見れば、自動車、船舶、鉄鋼の輸出が減少。

同月の為替レート(税関長公示レートベース)は 103.14 円と前年同月比+16.2%と 6 カ月連続で円高に振れた。

関西・全国の輸出の推移(百万円, 前年同月比, 2016 年 7 月まで)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(3) 輸入

関西 7 月の輸入額(速報値)は 1 兆 195 億円、伸びは前年同月比-25.4%と 11 カ月連続の減少。2009 年 10 月(同-28.3%)以来の大幅な減少幅となった。財別に見れば、原油及び粗油、有機化合物が減少した。

全国 7 月の輸入額(速報値)は 5 兆 2,149 億円、前年同月比-24.7%と 19 カ月連続の減少。財別に見れば、原油、液化天然ガス、石油製品等の輸入が減少している。資源価格は引き続き大幅下落傾向にある。

(4) 関西の地域別貿易

関西 7 月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は+2,243 億円と 6 カ月連続の黒字となり、貿易収支は前年

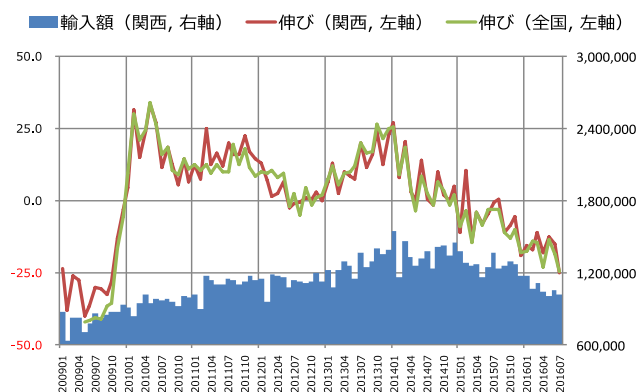
同月比+59.0%大幅拡大した。2 カ月連続のプラス。輸出は 9 カ月連続の減少(同-11.0%)。財別に見れば、科学光学機器、通信機等が減少した。一方、輸入は 11 カ月連続の減少(同-23.7%)。財別に見ると、衣類及び同付属品、通信機等が減少した。なお、通信機等の輸出入がともに減少していることは今後注意を要する。

うち、対中貿易収支は-429 億円と 53 カ月連続の赤字も、赤字幅は前年同月から大幅縮小した(同-64.7%)。輸出は 5 カ月連続の減少(同-7.8%)。輸入は 4 カ月連続の減少(同-23.8%)となった。

対米貿易収支は+727 億円と黒字基調が続いているものの、黒字幅は 2 カ月ぶりに前年から縮小(同-15.1%)。うち、輸出は 9 カ月連続のマイナス(同-19.1%)。財別に見れば、荷役機械、原動機等が減少した。輸入も 6 カ月連続の減少(同-22.4%)。財別に見れば、半導体等製造装置、天然ガス及び製造ガス等が減少となった。

対 EU 貿易収支は+2 億円と 2 カ月連続の黒字となり、貿易収支は前年同月から 432 億円改善した。輸出は 10 カ月連続の減少(同-9.4%)。財別に見れば、有機化合物機、プラスチック等が減少した。輸入は 5 カ月連続の減少(同-31.5%)。財別に見れば、有機化合物、半導体等製造装置等が減少。

関西・全国の輸入の推移(百万円, 前年同月比, 2016 年 7 月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

【消費者センチメント】

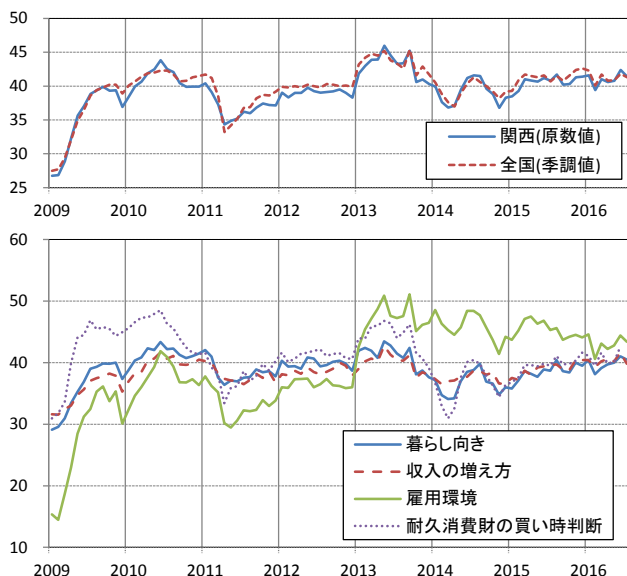
(1) 消費者態度指数の動向

関西の7月の消費者態度指数(原数値)は前月比-1.0ポイントの41.4で、3カ月ぶりの悪化。全国(季節調整値)は同-0.5ポイントの41.3とこちらも3カ月ぶりに悪化した。

4つの指標構成項目のうち、全国では「収入の増え方」「雇用環境」「耐久消費財の買い時判断」の3つの指標が前月から悪化した。円高の進展による企業収益悪化への懸念などが影響したとみられるが、内閣府は消費者心理の基調判断を「足踏みがみられる」として5カ月連続で据え置いた。

関西の同指数構成項目をみると、全国とは異なり、4指標全てで前月から悪化した。「収入の増え方」が同-1.8ポイント(2カ月ぶり)、「雇用環境」は同-1.0ポイント、「耐久消費財の買い時判断」が同-0.9ポイント(いずれも3カ月ぶり)、「暮らし向き」が同-0.5ポイント(5カ月ぶり)それぞれ悪化した。消費者心理は悪化しており、中でも、収入の増え方の減少幅が消費増税後の2014年11月以来の悪化となり、今後の消費の拡大は見込みづらい。

消費者態度指数(2016年7月まで)



(出所) 内閣府「消費動向調査」

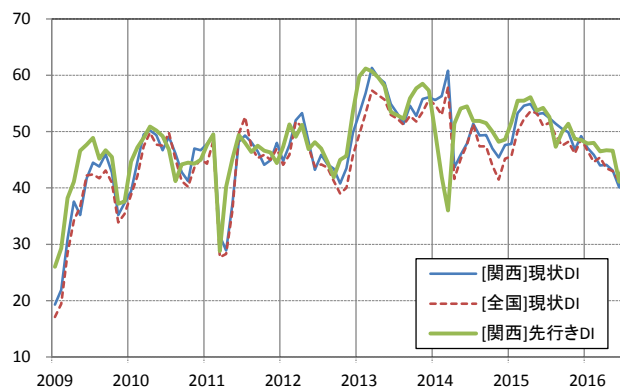
(2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の7月の現状判断DIは46.9となり前月比+6.8ポイント大幅上昇し、3カ月ぶりに改善したものの、景況感の良し悪しの分かれ目となる50を10カ月連続で下回った。全国は同+3.9ポイント上昇し45.1となり、4カ月ぶりの改善。

大幅に改善した背景として、英国のEU離脱決定から約1カ月が経過し、金融市場の混乱がある程度収まり、株価が回復してきたことがある。また、夏物商材の売れ行きが好調であったことも改善につながったとみられる。一方、関西では先月に引き続き百貨店を中心にインバウンド関連消費の減速や客単価の減少を懸念するコメントも見られており、注意が必要である。

また、先行き判断DIは、関西では46.1と前月比+5.0ポイント大幅上昇し、3カ月ぶりの改善。全国も47.1と同+5.6ポイント上昇し、2カ月ぶりの改善。先述した金融市場の落ち着きと政府の経済対策への期待から、先行き見通しが大幅に改善した。

景気ウォッチャー調査(2016年7月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

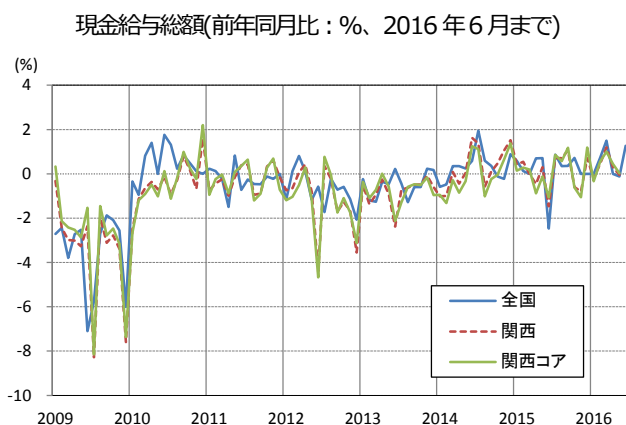
【所得・個人消費・住宅】

(1) 現金給与総額

4月の関西2府4県の現金給与総額(APIR推計)は27万1,381円で前年同月比+0.3%となり、3カ月連続の上昇。府県別では、滋賀県が同+3.9%、兵庫県が同+1.6%(いずれも3カ月連続)、京都府が同+1.4%(2カ月連続)上昇。一

方、奈良県が同-1.6%(2 カ月ぶり)、大阪府が同-0.2%(3 カ月ぶり)、和歌山県では同-7.2%(5 カ月連続)の下落となった。また、5月の京都・大阪・兵庫の加重平均をとった速報性のある「関西コア」賃金指数(APIR 推計)は前年同月比横ばいであった。

全国(速報値)の現金給与総額をみると、6月は前年同月比+1.3%と、3か月ぶりに上昇した。内訳をみると、所定内給与は同+0.1%と3か月ぶりのプラス。所定外給与は同-0.1%と5か月ぶりのマイナス。特別給与は同+3.3%と2か月連続のプラス。特別給与が大きく増加したこと、賃金全体の伸びを押し上げた。また、現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は同+1.8%と5か月連続で上昇した。



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR 推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。

(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

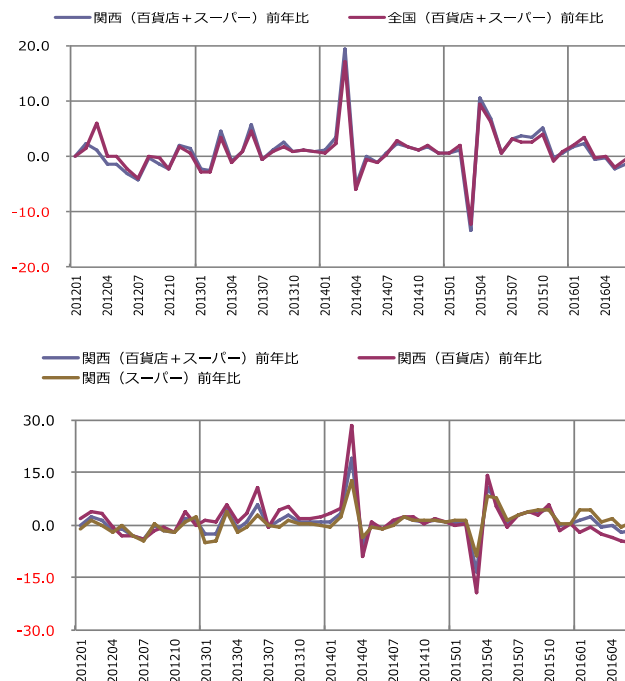
(2) 大型小売店販売額

関西6月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比-1.5%の減少と4か月連続のマイナスとなった。百貨店は同-4.9%減少し(前月同-4.6%)、6か月連続のマイナス。訪日外国人客の免税売上高の大幅減少が影響している(3か月連続の前年比マイナス)。スーパーは同+0.7%と2か月ぶりのプラスとなった。

全国6月の大型小売店販売額(全店ベース)は前年同月比-0.7%と4か月連続のマイナスとなっている。

関西の大型小売店販売額は、百貨店で減速感が強まっている。

大型小売店販売額(前年同月比：％、2016年6月まで)



(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動態統計」

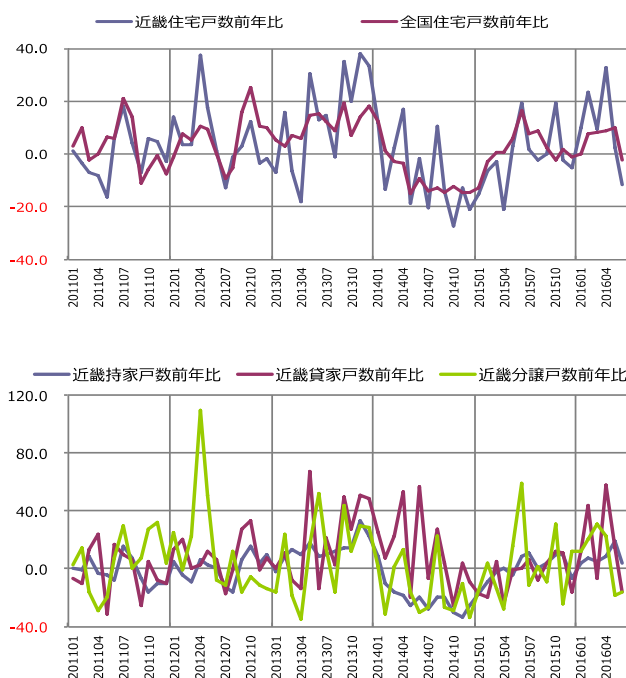
(3) 新設住宅着工の動向

関西6月の新設住宅着工戸数は12,681戸。前年同月比-11.5%となり、6か月ぶりの減少。全国は85,953戸と同-2.5%減少し、6か月ぶりのマイナス。

関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は3,290戸。前年同月比+4.5%と6か月連続のプラス。貸家は4,731戸、同-16.0%と3か月ぶりのマイナス。分譲は4,646戸、同-15.8%大幅減少し、2か月連続のマイナス。

7月の関西マンション契約率は74.6%(季節調整値、APIR 推計)。好不調の目安となる70%を2か月連続で上回った。首都圏は63.3%(季節調整値、APIR 推計)と2か月連続で70%を下回った。

新設住宅着工(前年同月比: %, 2016年6月まで)



(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

【雇用動向】

(1) 求人倍率の動向

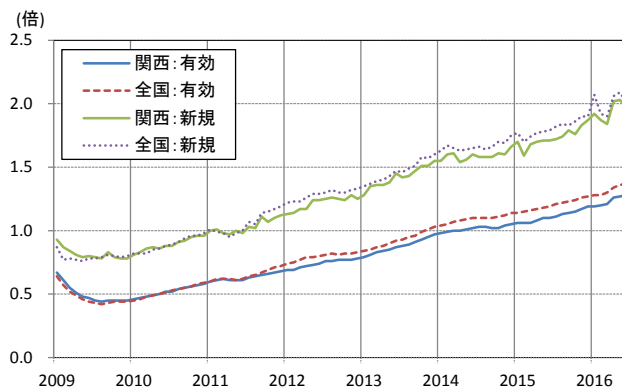
6月の関西の有効求人倍率は、1.28倍で前月比+0.01ポイントと5カ月連続の小幅上昇。1974年8月(1.26倍)を上回る高水準が続く。ただし、同月の有効求職人数は同+0.2%と3カ月連続で増加し、有効求職者数は同-0.8%と4カ月連続で減少した。6月の全国は1.37倍で前月比+0.01ポイントと4カ月連続の小幅上昇。雇用情勢は好調が続いている。

有効求人倍率を府県別にみると、大阪府が前月比+0.03ポイント、次に兵庫県が同+0.01ポイント上昇。一方、滋賀県、京都府、和歌山県では同横ばい、奈良県では同-0.01ポイント下落した。

6月の関西の新規求人倍率は、1.97倍で前月比-0.06ポイントと3カ月ぶりの下落。前月(2.03倍)と比べて下落したものの、高水準である。全国は2.01倍と同-0.08ポイント下落し、3カ月ぶりの悪化となった。

6月の関西の産業別新規求人数をみると、宿泊業・飲食サービス業で12カ月連続の2桁増加が続いており、全ての業種で増加していた。

求人倍率の推移(季節調整値、2016年6月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

関西2府4県有効求人倍率(2016年6月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
6月	1.37	1.28	1.18	1.33	1.39	1.15	1.13	1.20
5月	1.36	1.27	1.18	1.33	1.36	1.14	1.14	1.20

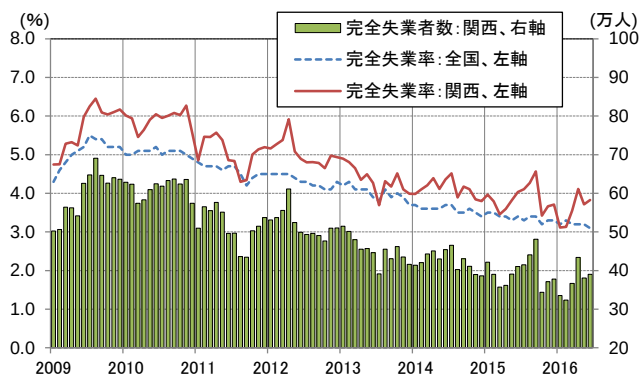
(2) 完全失業率の推移

6月の関西の完全失業率(季節調整値: APIR 推計)は3.8%で前月比+0.1%ポイント上昇し、2カ月ぶりの悪化。内訳をみると、前月と比べて労働力人口が増加するとともに、就業者数が増加しており、職探しが雇用につながっているとみられる。

関西の完全失業者数(季節調整値: APIR 推計)は39.0万人で前月から+0.9万人増加。2カ月ぶりの悪化となった。全国の完全失業率(季節調整値)は3.1%となり、前月比-0.1%ポイント改善。1995年7月(3.1%)以来、20年11カ月ぶりの低水準であった。

6月の全国の完全失業者数(季節調整値)は208万人で前月から-4万人減少。理由別にみると、非自発的な離職が-6万人減少した一方で、新たに求職した人が4万人増加していた。自発的な離職(自己都合)は横ばいであった。

完全失業率の推移(季節調整値:2016年6月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」

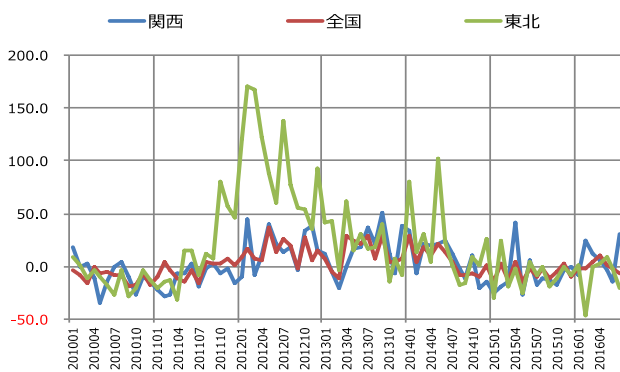
【公共投資】

(1) 公共工事請負金額

関西7月の公共工事請負金額は1,751億円と前年同月比+30.1%と3カ月ぶりの増加。全国は1兆3,618億円と同-6.9%と2カ月連続の減少。東北は2,125億円と同-20.2%と2カ月連続のマイナス。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西は大幅増加し、2カ月連続のプラス。全国は減少となり3カ月連続のマイナスとなった(関西:同+15.2%、全国:同-13.9%)。

公共工事請負金額(前年同月比:%,2016年7月まで)



(出所) 東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

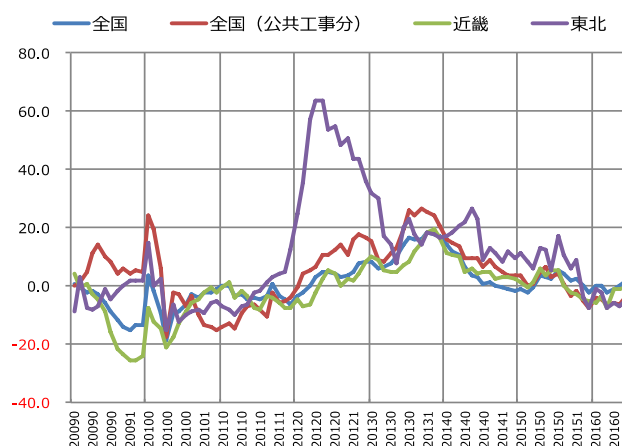
(2) 建設工事

関西6月の建設工事は4,854億円、前年同月比-0.3%と10カ月連続で減少した。東北は4,923億円、同-4.4%と8カ月連続の減少。結果、全国は3兆7,863億円となり、同

+1.6%と2カ月連続の上昇。全国の建設工事では多少の持ち直しが見られる一方、関西、東北は停滞が続いている。

うち、全国の公共工事は1兆4,027億円で同-3.6%と10カ月連続のマイナス。公共工事はマイナスが続いている。

建設工事(前年同月比:%,2016年6月まで)



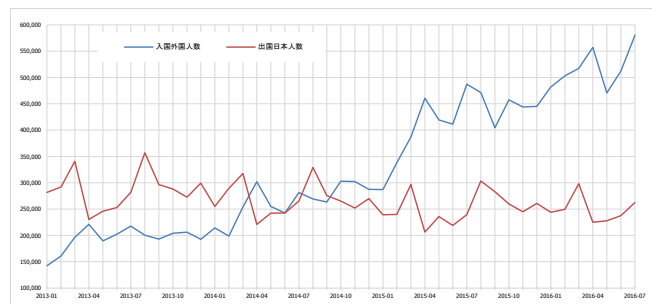
(出所) 国土交通省「建設総合統計」

【関空モニター】

(1) 訪日外客数トレンド

7月の関空への訪日外客数は57万9,850人となり、前年同月比+19.0%と42カ月連続のプラスとなった。また、外国人旅客総合数(出入国含む)は115万5,590人(同+20.4%)となった。一方、出国日本人数は26万2,590人で、伸びは同+9.5%であった。

訪日外客数と出国日本人数(人,2016年7月まで)



(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

(2) 地域別訪日外客数

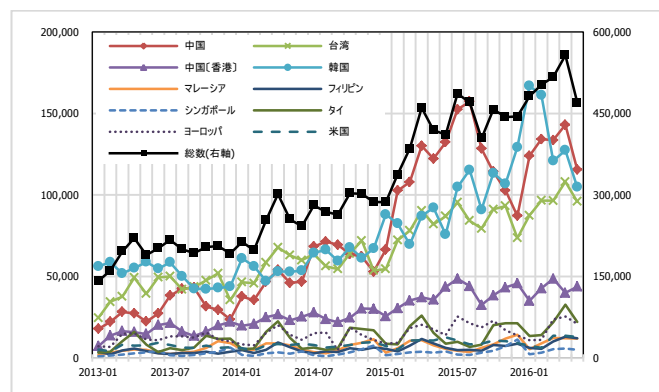
訪日外客数を地域別にみると、5月は中国(香港を除く)が

らの入国者数が11万5,557人(前年同月比-5.5%)と最も多かったものの、伸びはマイナスとなった。次いで、韓国が10万4,844人(同+13.8%)、台湾が9万6,001人(同+17.0%)、中国(香港)が4万3,715人(同+22.5%)であった。

他のアジア各国からの入国者数は、タイが2万2,185人(同+43.8%)、フィリピンが1万2,160人(同+36.6%)、マレーシアが1万1,908人(同+54.0%)、シンガポールが4,946人(同+48.9%)となった。

他地域を見ると、ヨーロッパが2万0,911人(同+18.4%)、米国が1万2,830人(同+19.3%)であった。

地域別訪日外客数(2016年5月：人、右軸：総数、左軸：各国)



(出所) 法務省「出入国管理統計」

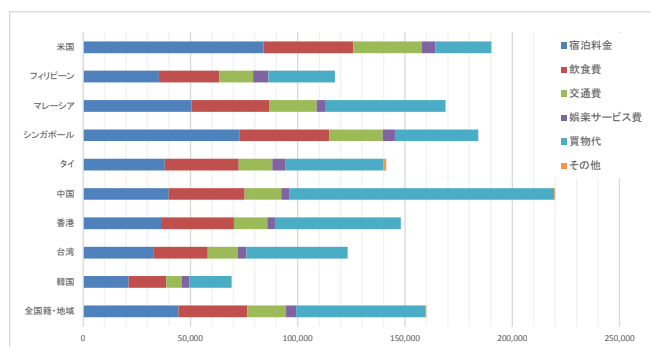
(3) 訪日外客支出

訪日外国人の支出額を見れば、2016年4-6月期に日本を訪れた外国人による平均消費額は15万9,930円(前年比-9.9%)であった。うち、訪日外客者数が最大である中国の平均支出額は21万9,996円(同-22.9%)。買い物代は12万3,597円と、依然、半分以上を占めているが、爆買いの動向は落ち着きを見せつつある。

他の関空への入国者数が多い国々を、支出額が大きい順に見ると、米国19万344円(同+12.3%)、シンガポール18万4,147円(同-13.3%)、マレーシア16万8,877円(同+3.8%)、香港14万8,063円(同-7.8%)、タイ14万1,299円(同+5.4%)、台湾12万3,308円(同-14.4%)、フィリピン11万7,369円(同+9.0%)、韓国6万9,310円(同-6.3%)であった。

中国、香港、台湾の支出額の下落には注意が必要である。

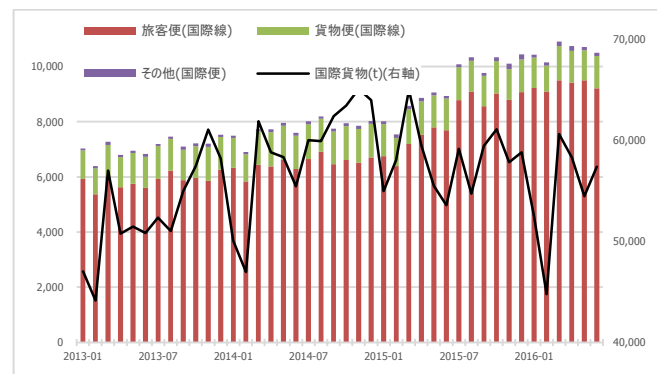
国別訪日外客支出総額(2016年4-6月期：全国、円)



(4) 旅客・貨物便数トレンド

6月の総合便数(旅客・貨物合計)は1万500便となった。前年同月比+17.5%と33ヶ月連続の増加。国際線旅客便数は9,213便(同+19.7%)と33ヶ月連続の増加。国際貨物便は1,167便(同+2.0%)と、15ヶ月ぶりのプラスとなった。その他は120便(同+23.7%)であった。貨物便を重量ベースで見ると、6月は5万7,372トン。同+7.1%と14ヶ月ぶりプラスになった。

国際便数(左軸)・貨物(右軸)(2016年6月まで)



(出所) 新関西国際空港株式会社「運営概況ニュースリリース」

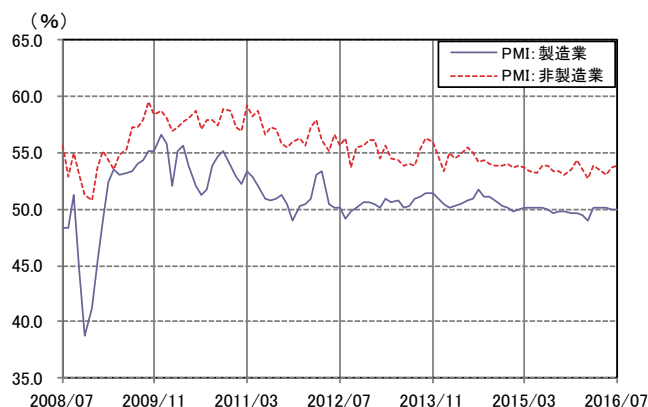
【中国景気モニター】

(1) センチメント

7月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は49.9となり、前月から-0.1ポイント下落し、2カ月連続の悪化。一方、非製造業購買担当者景況指数は53.9となり、前月から+0.2ポイント上昇し、2カ月連続の改善。

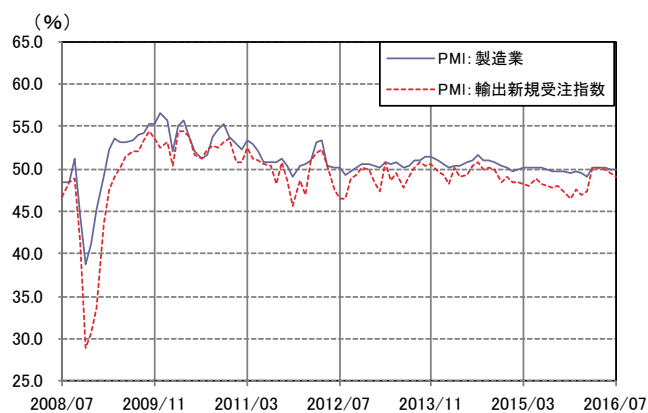
製造業 PMI のうち、生産指数は52.1 となり、前月比-0.4 ポイント下落し、3 カ月ぶりのマイナス。輸出新規受注指数は49.0 となり、同-0.6 ポイント下落し、4 カ月連続のマイナス。雇用指数は48.2 となり、同+0.3 ポイント上昇し、2 カ月ぶりのプラス。

中国非製造業購買担当者景況指数(2016 年 7 月まで)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

中国製造業購買担当者景況指数(2016 年 7 月まで)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

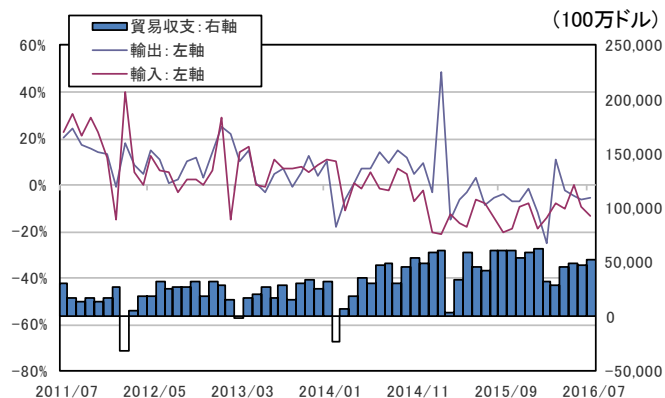
(2) 貿易動向

7 月の貿易収支は+523 億ドルで、29 カ月連続の黒字となり、黒字幅は前年同月より 92.8 億ドル拡大した。うち、輸出額(速報値、ドル・ベース)は 1,847.3 億ドルとなり、同-5.3%減少し、4 カ月連続のマイナス。輸入額は1,324.3 億ドルとなり、同-12.9%減少し、21 カ月連続のマイナス。

また、対日貿易収支は-15.9 億ドルとなり、6 カ月連続の赤字となった。対日輸出額は 105.2 億ドルとなり、前年同月

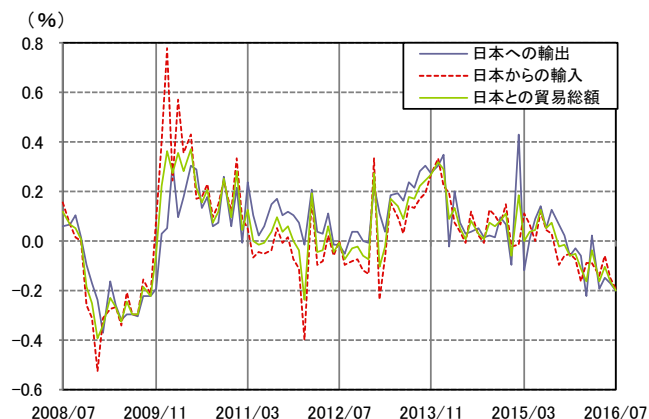
比-5.2%減少し、4 カ月連続のマイナス。一方、対日輸入額は 121.1 億ドルとなり、前年同月比-4.6%減少し、3 カ月ぶりのマイナスとなった。なお、円ベースでみると、対日輸出額は同-20.1%と 4 カ月連続のマイナス。対日輸入額は同-19.6%と 11 カ月連続のマイナス。

中国の貿易動向 (前年同月比: ドル・ベース) (2016 年 7 月まで)



(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

日本との貿易 (前年同月比: 円ベース) (2016 年 7 月まで)



(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

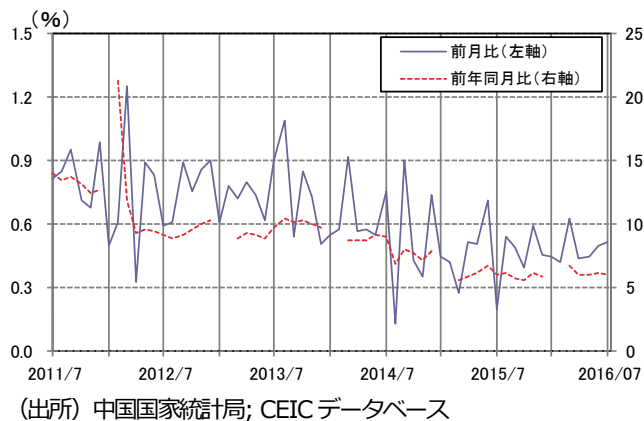
(3) 工業生産

7 月の工業生産は前月比+0.52%、伸びは前月から+0.02%ポイント加速し、3 カ月連続のプラス。前年同月比では+6.0%となり、伸びは前月から-0.2%ポイント減少した。

産業別に見ると、自動車製造業(同+22.9%)、パソコン・通信設備製造業(同+12.0%)、医薬製造業(前年同月比+10.6%)、食品製造業(同+9.9%)などが高い伸びを示す一方で、鉄鋼などの精錬・圧延加工業(同+1.7%)、鉄道・輸送

機器製造業(同+3.2%)、通用設備製造業(同+3.6%)などは比較的低調な伸びにとどまった。

工業生産指数(2016年7月まで)

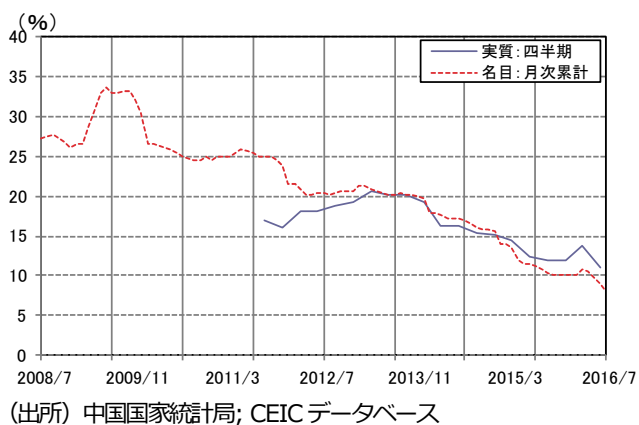


(4) 固定資産投資

1-7 月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同月比+8.1%となり、伸びは1-6 月期から-0.9%ポイント減少。4 カ月連続の減速。

産業別に見ると、第1次産業は前年同月比+20.6%、伸びは前月より-0.5%ポイント減少し2カ月ぶりに縮小。第2次産業は同+3.5%、伸びは前月から-0.9%ポイント減少し、3 カ月連続の減速。また、第3次産業は同+10.8%となり、伸びは前月から-0.9%ポイント下落し、4 カ月連続の減速となった。

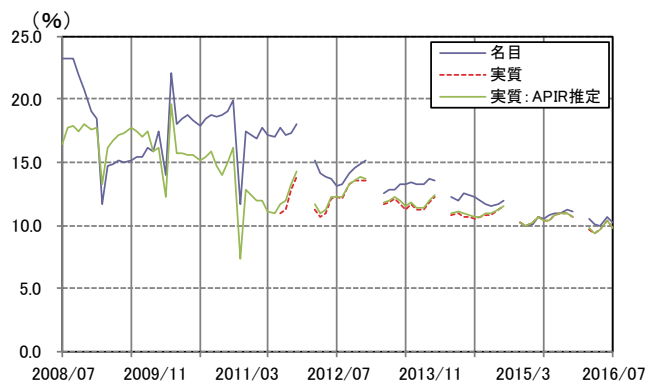
固定資産投資 (2016年7月まで) (累積伸び率)



(5) 消費

7 月の社会消費品小売総額(名目)は前年同月比+10.2%、伸びは前月から-0.4%ポイント減少し2 カ月ぶりの縮小。

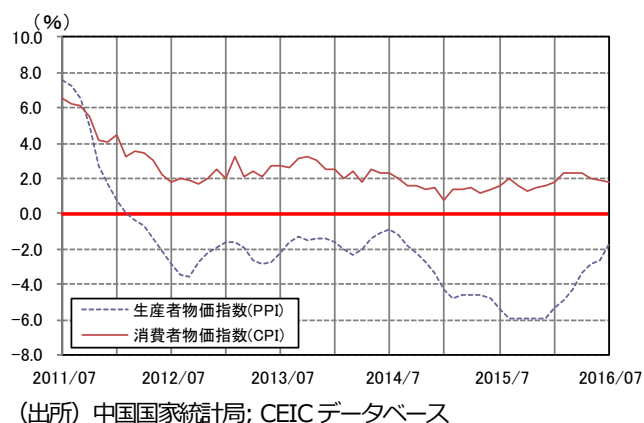
社会消費品小売総額成長率の推移 (2016年7月まで)



(6) 物価水準

2016年7月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+1.8%上昇した。伸びは前月(同+1.9%)から3 カ月連続で幾分減速した。生産者物価指数(PPI)は同-1.7%となり、伸びは前月より+0.9%ポイント拡大したものの、過剰生産による生産者物価への押し下げ圧力が続いている。

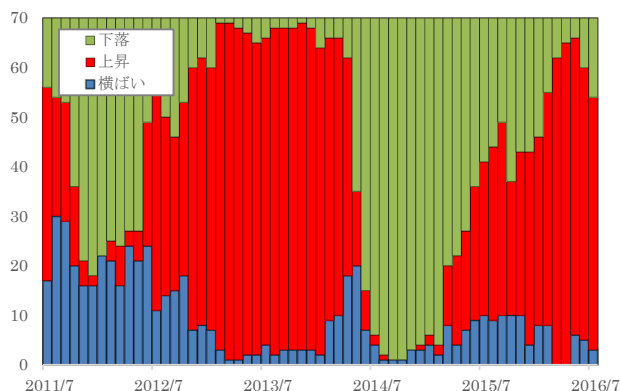
消費者物価指数と生産者物価指数の推移
(2016年7月まで: %)



(7) 不動産市場

7月の不動産市場は先月と同様、悪化が続いている。不動産価格(新築住宅価格)を見ると、中国主要70都市のうち、51都市で上昇。前月と比較すると、上昇した都市数は4都市の減少となった。一方、16都市で価格が前月から下落した。前月と比較すると、落下した都市数は6都市の増加となった。3都市では前月と同水準となった。

新築住宅価格の主要都市集計 (2015年7月まで:都市数)



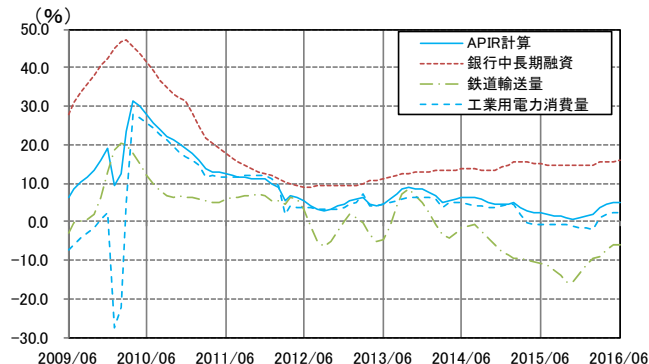
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(8) リコノミクス指数

6月のリコノミクス指数(APIR 試算)は前年同月比+5.1%となり、伸びは前月から+0.1%ポイント幾分加速した。内訳をみると、銀行中長期融資は同+15.9%、伸びは前月から+0.2%ポイント増加し、2カ月連続の加速。工業用電力消費量は同+2.6%、伸びは前月から+0.2%ポイント増加し、4カ月連続の加速。一方、鉄道輸送量は同-6.0%減少し、伸びは前月に比して横ばいとなった。

リコノミクス指数(APIR 試算)は前年比7カ月連続で上昇しているものの、顕著な改善は依然として見られない。

APIR 試算のリコノミクス指数とその内訳(2016年6月まで:%)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

Contact : 林万平・木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh

Nguyet

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	15/7M	15/8M	15/9M	15/10M	15/11M	15/12M	16/1M	16/2M	16/3M	16/4M	16/5M	16/6M	16/7M
景況感													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	52.4	51.4	50.5	49.9	46.8	49.2	47.1	45.9	44.0	44.1	43.1	40.1	45.1
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	51.2	50.4	50.8	49.5	44.2	45.7	46.8	44.4	42.4	40.7	41.9	38.1	45.4
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	52.6	47.3	49.9	51.4	48.7	48.5	47.9	48.0	46.5	46.7	46.6	41.1	46.1
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	51.6	49.3	47.5	48.2	46.1	48.7	46.6	44.6	45.4	43.5	43.0	41.2	45.1
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	50.8	48.8	47.0	48.1	44.4	47.7	45.6	43.2	44.3	42.2	41.9	40.2	44.5
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	51.9	48.2	49.1	49.1	48.2	48.2	49.5	48.2	46.7	45.5	47.3	41.5	47.1
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	40.8	41.7	40.2	40.3	41.3	41.4	41.6	39.4	41.0	40.6	40.8	42.4	41.4
[関西]暮らし向き(原数値)	38.7	40.4	38.6	38.4	40.0	39.5	40.4	38.1	39.1	39.7	40.0	41.0	40.5
[関西]収入の増え方(原数値)	39.6	39.7	38.9	38.8	40.4	40.4	40.4	39.3	40.2	40.6	40.2	41.6	39.8
[関西]雇用環境(原数値)	45.3	45.6	43.7	44.2	44.5	44.1	44.6	40.6	43.1	42.2	42.8	44.4	43.4
[関西]耐久消費財の買い時判断(原数値)	39.5	41.1	39.7	39.8	40.3	41.6	41.1	39.5	41.6	39.9	40.1	42.6	41.7
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	40.3	41.7	40.6	41.5	42.6	42.7	42.5	40.1	41.7	40.8	40.9	41.8	41.3
[関西]大型小売店販売額(10億円)	337.8	315.4	297.9	316.4	326.9	412.5	332.9	290.0	318.1	303.1	310.6	303.9	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	3.0	3.7	3.5	5.0	-0.3	0.6	1.6	2.3	-0.6	-0.3	-2.3	-1.5	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,705.7	1,605.6	1,511.4	1,607.2	1,650.1	2,092.5	1,691.3	1,488.6	1,646.0	1,545.8	1,597.9	1,567.5	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	3.2	2.6	2.6	4.0	-0.8	0.9	2.1	3.2	-0.2	-0.1	-1.9	-0.7	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	10,210	12,490	11,697	12,872	11,877	11,024	10,581	11,081	11,846	13,050	10,682	12,681	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比)	1.7	-2.1	-0.1	19.0	-2.6	-5.2	10.2	23.1	9.4	32.9	2.6	-11.5	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	78,263	80,255	77,872	77,153	79,697	75,452	67,815	72,831	75,744	82,398	78,728	85,953	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比)	7.4	8.8	2.6	-2.5	1.7	-1.3	0.2	7.8	8.4	9.0	9.8	-2.5	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	71.2	79.4	68.9	67.7	68.7	62.6	73.4	76.8	76.6	69.3	61.8	70.4	70.8
[関西]マンション契約率(原数値)	75.1	79.4	67.9	68.6	70.2	59.6	67.1	72.0	78.6	70.0	64.5	73.3	74.6
[全国]マンション契約率(季節調整値)	79.6	76.8	67.1	71.5	80.6	67.3	60.9	72.9	64.3	66.0	71.1	67.3	60.2
[全国]マンション契約率(原数値)	83.7	74.3	66.0	68.8	82.1	64.8	58.6	72.9	67.6	66.4	70.9	69.6	63.3
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	134.6	103.2	128.6	123.0	85.4	97.3	64.4	80.0	125.9	279.6	122.7	172.9	175.1
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比)	-18.2	-11.6	-13.4	-18.2	-3.9	0.1	-8.8	24.3	12.0	6.2	-3.8	-13.7	30.1
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1,463.2	1,113.2	1,246.1	1,253.0	872.0	808.6	653.5	696.8	1,339.5	2,030.1	1,145.3	1,527.8	1,361.8
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比)	-10.1	-1.3	-10.9	-4.8	3.3	-9.6	-2.6	-2.2	5.0	10.6	1.4	-1.8	-6.9
[関西]建設工事(総合、10億円)	500.3	507.4	521.0	540.7	561.0	578.1	564.6	562.6	531.5	461.9	461.4	485.4	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比)	5.2	0.2	-2.4	-2.8	-4.6	-5.2	-6.0	-3.7	-7.4	-1.3	-1.3	-0.3	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	3,934.5	4,195.9	4,402.8	4,642.3	4,712.0	4,732.5	4,611.1	4,520.7	4,423.7	3,589.2	3,553.4	3,786.3	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比)	5.2	4.1	1.6	2.6	-0.1	-2.1	0.0	0.2	-2.1	-1.2	0.1	1.6	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	1,550.8	1,717.3	1,865.7	2,067.3	2,132.5	2,160.4	2,093.9	2,032.8	2,003.3	1,362.5	1,296.9	1,402.7	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比)	4.4	0.8	-3.5	-1.5	-5.1	-7.8	-4.3	-4.4	-6.4	-5.8	-6.3	-3.6	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	102.8	100.4	101.6	104.1	102.5	99.2	104.1	98.9	105.0	104.1	103.3	101.2	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	0.2	-2.3	1.2	1.3	-1.5	-3.0	4.9	-5.0	7.5	-0.9	-0.8	-2.0	UN
[関西]出荷指数(原数値、前年同月比)	-0.4	0.1	1.0	-4.5	0.0	-3.6	-7.8	-2.1	-0.3	-1.3	3.2	-1.5	UN
[関西]在庫指数(原数値、前年同月比)	0.5	-0.3	0.2	0.9	0.0	1.1	1.4	1.1	1.8	2.6	3.9	3.5	UN
[関西]出荷指数(季節調整値、10年=100)	100.5	98.7	100.6	102.1	99.4	98.2	100.7	95.8	101.5	101.8	101.2	99.3	UN
[関西]出荷指数(季節調整値、前月比)	0.5	-1.8	1.9	0.5	-2.6	-0.6	2.5	-4.9	5.9	0.3	-0.6	-1.9	UN
[関西]在庫指数(季節調整値、10年=100)	119.0	118.0	118.4	118.1	118.6	117.9	117.9	118.6	119.2	120.2	121.7	121.7	UN
[関西]在庫指数(季節調整値、前月比)	1.2	-0.8	0.3	-0.4	0.4	-0.3	0.0	0.6	0.5	0.8	1.2	-0.2	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	97.5	96.3	97.4	98.8	97.9	95.9	98.3	93.2	96.7	97.2	94.7	96.9	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-0.8	-1.2	1.1	1.4	-0.9	-1.2	2.5	-5.2	3.8	0.5	-2.6	2.3	UN
[全国]出荷指数(原数値、前年同月比)	-0.4	0.6	-1.5	-0.8	0.0	-2.5	-5.4	-1.6	-0.7	-3.4	-1.0	-1.7	UN
[全国]在庫指数(原数値、前年同月比)	-0.8	2.1	2.1	0.2	0.0	0.0	0.2	-0.9	1.8	0.1	0.8	0.0	UN
[全国]出荷指数(季節調整値、10年=100)	96.2	95.5	96.8	98.8	96.4	94.9	96.8	92.8	94.5	96.0	93.5	95.1	UN
[全国]出荷指数(季節調整値、前月比)	-0.4	-0.7	1.4	2.1	-2.4	-1.4	2.0	-4.1	1.8	1.6	-2.6	1.7	UN
[全国]在庫指数(季節調整値、10年=100)	113.7	114.0	113.6	111.4	111.9	112.7	112.4	112.2	115.4	113.4	113.9	113.9	UN
[全国]在庫指数(季節調整値、前月比)	-0.8	0.3	-0.4	-1.9	0.4	0.4	-0.3	-0.2	2.9	-1.7	0.4	0.0	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比)	0.7	0.7	1.1	-0.6	-0.8	0.7	-0.2	0.5	1.2	0.3	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比)	0.9	0.6	1.2	-0.6	-1.1	1.2	-0.3	0.6	1.0	0.4	0.0	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比)	0.9	0.4	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	1.5	0.0	-0.1	1.3	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	4.1	4.3	4.6	3.4	3.7	3.7	3.1	3.1	3.6	4.1	3.7	3.8	UN
[関西]完全失業率(原数値)	4.3	4.4	4.5	3.6	3.4	3.3	3.3	3.3	3.7	4.0	3.6	3.7	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.3	3.4	3.4	3.2	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2	3.2	3.2	3.1	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.72	1.74	1.79	1.76	1.83	1.87	1.92	1.87	1.84	2.02	2.03	1.97	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.82	1.84	1.83	1.86	1.90	1.90	2.07	1.92	1.90	2.06	2.09	2.01	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.11	1.13	1.14	1.15	1.17	1.19	1.19	1.20	1.21	1.26	1.27	1.28	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.21	1.22	1.23	1.24	1.26	1.27	1.28	1.28	1.30	1.34	1.36	1.37	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	7.8	65.0	127.5	100.8	-29.3	167.5	-58.4	139.1	222.4	223.1	93.1	223.6	179.9
[関西]輸出(10億円)	1,374.6	1,299.4	1,386.8	1,398.2	1,237.0	1,338.7	1,110.0	1,199.9	1,337.1	1,261.0	1,102.9	1,281.8	1,199.4
[関西]輸出(前年同月比)	4.9	2.0	2.8	-1.9	-6.5	-10.8	-14.9	-3.4	-8.4	-8.8	-12.8	-7.3	-12.7
[関西]輸入(10億円)	1,366.8	1,234.4	1,259.4	1,297.3	1,266.3	1,171.1	1,168.4	1,060.8	1,114.7	1,037.9	1,009.9	1,058.2	1,019.5
[関西]輸入(前年同月比)	-0.5	0.4	-11.0	-8.8	-5.8	-19.3	-15.4	-17.1	-11.4	-18.1	-12.7	-15.3	-25.4

注：鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く。

Release Calendar for August/September

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
1-Aug 中国製造業 PMI (7月)	2-Aug 消費動向調査(7月)	3-Aug	4-Aug	5-Aug 毎月勤労統計 (6月:速報値)
8-Aug 景気ウォッチャー調査 (7月) 中国輸出入 (7月:速報値)	9-Aug 近畿鉱工業生産指数 (6月速報)	10-Aug 近畿貿易統計 (5月確報) 近畿貿易統計 (6月確速)	11-Aug 中国固定資産投資 (7月) 中国工業生産 (7月) 中国消費品小売総額 (7月)	12-Aug
15-Aug 商業動態調査 (6月:確報値) 全国鉱工業生産指数 (6月:確報値) 公共工事前払保証額 統計(7月)	16-Aug マンション契約率 (7月)	17-Aug 建設総合統計(6月)	18-Aug 全国貿易統計 (7月:速報) 近畿貿易統計 (7月速報) 中国不動産市場 (7月)	19-Aug
22-Aug 中国輸出入 (7月:確定値)	23-Aug 毎月勤労統計 (6月:確報値)	24-Aug	25-Aug	26-Aug 近畿鉱工業生産指数 (6月確報)
29-Aug	30-Aug 全国貿易統計 (7月:確速) 商業動態調査 (7月:速報値) 求人倍率(7月) 完全失業率(7月)	31-Aug 全国鉱工業生産指数 (7月:速報値) 新設住宅着工(7月)	1-Sep	2-Sep